

交通安全 ポスター ・ 作文 出品票

管轄の 警察署	西入間 警察署		
学校名	ふりがな さかどしりつさくらしょうがっこう		
	坂戸市立桜小学校		
学校の 所在地	〒 350-0231		
	坂戸市泉町三丁目 28 番地 7		
	電話 049-283-3541		
学 年	年 組	性別	男 ・ 女
氏 名	ふりがな		名
	姓		

※ 学校名・氏名・ふりがな は正確に記載してください。



ポスター

出品票は作品裏面の右下に
糊で貼り付けてください

ポスター裏面

出品票

2

防火ポスター 出品票 (3年生・4年生のみの参加です)

学 校 名	坂戸市立桜小学校		学 年	
ふりがな		作品名		
氏 名				

3

様式 2

平和啓発ポスター

学 校 名	坂戸市立	桜小 学校	学年	年
ふりがな				
氏 名				

4

様式 2

都道府県	埼 玉 県	明るい選挙啓発ポスター		
学 校 名	坂戸市立	桜小 学校	学年	年
ふりがな				
氏 名				

ゆうちょアイデア貯金箱 出品票

ゆうちょアイデア貯金箱コンクール出品票			
氏 名		学 年	年
学校名	埼玉県坂戸市立桜小学校		
作品名			

1. 趣旨

- ◇子どもや若者が本に親しむ機会をつくり、読書の楽しさ、すばらしさを体験させ、読書の習慣化を図る。
- ◇より深く読書し、読書の感動を文章に表現することをおして、豊かな人間性や考える力を育む。更に、自分の考えを正しい日本語で表現する力を養う。

2. 対象図書

課題図書・・・主催者の指定した図書（課題図書 ※課題一覧参照）

自由図書・・・自由に選んだ図書、フィクション、ノンフィクションを問わない。

※教科書、副読本、読書会用テキスト類またはこれに準ずるもの、雑誌（別冊付録を含む）、パンフレット類、日本語以外で書かれた図書および課題図書は対象としません。ただし、課題図書であっても該当の部以外であれば、自由読書として応募することができます。

※点訳・音訳を利用した読書の場合は、その理由および原本、音訳・点訳したものの情報を添えてご応募ください。

3. 用紙・字数

○原稿用紙を使用し、縦書きで自筆してください。
原稿用紙の大きさ、字詰めに規定はありません。

○文字数については下記のとおりです。

- ・小学校低学年の部（1、2年生） 本文 800字以内
- ・小学校中学年の部（3、4年生） 本文 1200字以内
- ・小学校高学年の部（5、6年生） 本文 1200字以内

○句読点はそれぞれ一字に数えます。改行のための空白個所は字数として数えます。

○題名、学校名、氏名は字数に数えません。

⇒本文は、原稿用紙の1行目から記入します。題名、学校名、氏名は欄外に記入

※例年、字数オーバーによる失格が出ています。必ず字数は規定を守るようご注意ください。

★こちらの票をもとに、全国への出品応募票を作成しています。
はつきりとわかりやすくもれのないように記入してください。
鉛筆の場合は、濃く記入してください。

記入前にご確認ください

1. この応募票は応募者本人、保護者が記入してください。
2. わかりやすく鉛筆で記入し、作品の一番上に貼付し、右向きとしてください。
3. 「対象図書」欄は対象図書を特定するため、もれなく記入してください。審査会では対象図書を確認します。
4. 記入もれや、誤った情報は審査会でできない場合がありますので、正確に記入してください。
5. 応募作品・題名・対象図書名、および応募者氏名・学校名・学年は、公表することとなります。ご了承ください。

第70回 読んで世界を広げる、書いて未来をつくる。
**青少年読書感想文
全国コンクール**

応募票

※選考時に学校へ送附いたします
課題読書
自由読書
(二者択一してください)

感想文の題名			
所 属	学校名 (ふりがな)	〒	市町村
	立	学校	
属	学校所在地 (〒)	(〒)	(電話)
	担当者名 (はしりかき)	担当者名 (E-mail)	
応募者	部・学年	小低・小中・小高・中学	高校
	氏名 (ふりがな)	生年月日・年齢 (ひらがなで記入)	年 月 日生(歳)
対象図書(読んだ本)	書名 (ひらがなで記入してください)		
	著者・編者・訳者・画家		
	シリーズ名・文庫名		
	発行所・発行年	発行年	年
	定価・大きさ・ページ数	定価	大きさ
感想文執筆に際し参考にした資料の有・無 (どちらかを○で記入してください)			
☐ 有 ☐ 無			
☐ 了承します			

忘れずに○をつけてください。

問い合わせが必要な場合があります。
必ず記入してください。

奥付を見て正確に記入してください。

忘れずに記入してください。

応募票クリップ止
は

原稿用紙の1枚目の1行目から本文を
書くようにご指導ください。
作品に表紙は不要です。
コピーした原稿用紙の使用は失格です。

自由 「自分の舟」

六年 桜井 翔

作品は二つ折りしたものを重ねて、応募票とともにクリップでを止めてください。

『書名』
著者名(出版社名)

どちらの内容も枠
外余白部に記入

課題・自由のどちらか
「感想文の題名」
学年 名前

『西の魔女が死んだ』
梨木果歩(新潮文庫)

※「地区名・一覧表No」を原稿用紙に記入
例 地区名(秩父) 一覧表No(2)の場合
作品が2枚なので2-1、2-2となる

秩父
2-1 秩父
2-2

ご注意ください

地方審査によっては、応募要項のほかに規定を設けていて、
本応募票が必要ない場合や別の応募票が必要な場合があります。
必ず在籍校にご確認ください。

記入前にご確認ください

1. この応募票は応募者本人、保護者が記入してください。
2. わかりやすく楷書で記入し、作品の一番上に貼付し、右肩をとじてください。
3. 「対象図書」欄は対象図書を特定するため、もれなく記入してください。審査会では対象図書を参照します。
4. 記入もれや、誤った情報は審査ができない場合がありますので、正確に記入してください。
5. 応募作品・題名・対象図書名、および応募者氏名・学校名・学年は、公表することがあります。ご了承のうえ、記入してください。



読むこと、書くこと、自分を知ること。

第71回 青少年読書感想文
全国コンクール

応募票

※提出は在籍校へお願いします

応募
区分

課題読書
自由読書
(○で囲んでください)

感想文の題名						
所 属	(ふりがな) 学校名	埼玉 部 坂戸 市 (さかどしりつ さくらしょうかうこう) 坂戸市 立 桜小 学校				
	学校所在地 ・担当者名 (電話番号は市外局番 から記入してください)	(〒350-0231) (電話 049 - 283 - 3541) (所在地 埼玉県坂戸市泉町三丁目28-7) (担当者名) (E-mail)				
応 募 者	部・学年	小低・小中・小高・中学・高校		学年	年	
	(ふりがな) 氏 名	()	生年月日・年齢 ※高校生のみ記入 年 月 日生(歳)			
対 象 図 書 (読んだ本)	書 名 ※サブタイトルも必ずご記入ください					
	著者・編者・訳者・画家					
	シリーズ名・文庫名					
	発行所・発行年	発行所	発行年	年	初版発行年	年
	定価・大きさ・ページ数	定価	円(本体 円)	大きさ	縦の長さ cm	ページ数
感想文執筆に際し 参考にした資料の有無 (どちらかを○で囲んでください)		有・無				
応募作品と応募票に記入した情報を公表することがあります。 すべてご同意いただいたうえで、チェック ☒ を入れてください。 ☐ 了承します						

※点線で切り取って作品に添付してください。
※本票はA4用紙で印刷されることを想定して作成しています。

令和 8 年度少年の主張大会作文応募要項

部門 概要	小学生の部	中学生の部	高校生・一般の部 (中学卒業後 3 年以内の者)
目 的	少年が、家庭・学校・地域の一員として、日常生活を通じて日ごろ考えていることを広く市民に訴えることにより、大人たちの少年に対する理解を深めるとともに、青少年健全育成に対する関心を高め、もって青少年健全育成の推進を図る。		
応募資格	市内在住又は在学の小学校 4 年生から 6 年生	市内在住又は在学の中学生	市内在住又は在学の高校生及び市内在住又は在勤の中学校卒業後 3 年以内の者
テ ー マ	自由[未来に向けて考えていること（希望・提案）や、日常生活の中で感じていること、大人に訴えたいこと等]		
	〈例〉 ①家族 ②友達 ③夢	〈例〉 ①地球（環境・平和・国際貢献等） ②社会（ボランティア・福祉・社会問題等） ③学校（友達・いじめ・少年非行等） ④将来の夢	
原 稿	・小学生の部・中学生の部は400字詰め原稿用紙（縦書き） 4 枚以内で、 4 分以上 5 分以内 にスピーチ発表できる内容。 ・高校生・一般の部（中学校卒業後 3 年以内の者）は400字詰め原稿用紙（縦書き） 6 枚以内で、 6 分以上 7 分以内 にスピーチ発表できる内容。		
提出方法	市 内 通学者	市内の小学・中学・高等学校在学者については、各小学・中学・高等学校において応募作文を 5 点以内 に取りまとめ、各学校宛て通知内 QR コード「申し込みフォーム」より、応募する。	
	その他の 者	市内在住で、市外の小学・中学・高等学校在学者並びに市内在住又は在勤の中学卒業後 3 年以内の者については、右 QR コード「申し込みフォーム」より、応募する。	
個人応募 			
応募期限	令和 8 年 8 月 3 1 日（月）まで。ただし、各学校が取りまとめのうえ応募する場合には、令和 8 年 9 月 7 日（月）までとする。		
応 募 先	青少年育成坂戸市民会議事務局（坂戸市教育委員会社会教育課内） 〒 3 5 0 - 0 2 9 2 坂戸市千代田一丁目 1 番 1 号 電話 0 4 9 （ 2 8 3 ） 1 4 7 3 （直通）		
そ の 他	1 各部門の受賞者については、 <u>次年度埼玉県が主催する「少年の主張大会」の出場候補者として推薦します</u> ので了解願います。 2 第一次審査結果については、1 0 月下旬頃に各学校長あてにご連絡します。 また、市内在住の市外小・中・高等学校在学者については、直接本人にご連絡します。 3 提出された作文の著作権（著作権法第 2 7 条及び 2 8 条に規定する権利を含む）については、当該作文の提出をもって坂戸市教育委員会へ無償で譲渡されるものとします。		

個人応募



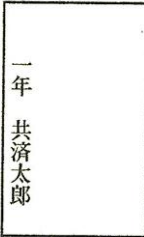
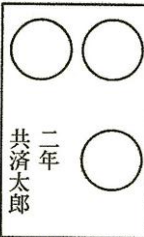
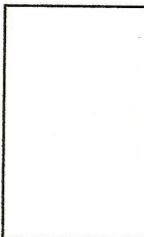
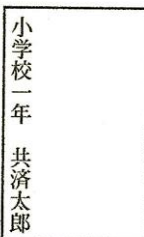
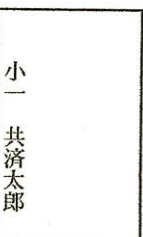
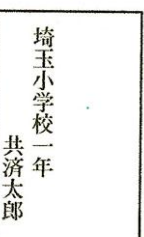
第70回 JA 共済小・中学生書道コンクール 児童・生徒への通知用（小学校）

<課題>

小学生	区 分	条 幅 の 部	半 紙 の 部
	第1学年	れ き し	な え
	第2学年	は つ が	き ぼ う
	第3学年	道 し る べ	い ね か り
	第4学年	種 ま く 時	信 念
	第5学年	伝 統 の 美	幸 せ の 輪
	第6学年	地 域 の 未 来	将 来 の 姿

※「条幅の部」または「半紙の部」のいずれかを選択し、作品1点のみ学校へ応募してください。
 ※学校によるJAへの提出は課題ごとに学校代表の1作品、JAへ提出された作品は返却しません。

<学年・氏名の記入方法>

○ 正しい書き方		× 誤った書き方			
図例 1	図例 2	図例 3	図例 4	図例 5	図例 6
 名札	 名札	 名札 学年・氏名の無いもの	 名札 小・中学校の別を記入したもの	 名札 学校名を記入したもの	 名札 学年・氏名の順を誤って記入したもの

書道コンクール実施要項の詳細は次のホームページ内「応募方法」ボタンから「埼玉県」を選択してご確認ください。
 URL: <https://social.ja-kyosai.or.jp/contest/index.html>

<切り取り>

◎応募作品について、「学年・氏名の記入方法」の誤りが大変多くなっております。
 実施要項等をご確認の上、ご提出ください。

◎名札の「JA名」について、学校所在地を管轄するJA名が不明な場合は未記入でお願いします。

◎名札は作品の左下に「のりづけ」してください。

◎名札の添付されていない作品は審査の対象となりません。

の り し ろ <名札>

県 名	学校応募 埼 玉 県
J A 名	J A
学校名	市・町・村・私 立 学校
学 年	年
ふりがな	
氏 名	



作 品

名札

△切り取り▽

夏休み理科研究について

桜小学校理科部

長い夏休みがやってきます。その休みを利用してご家族で理科の研究を楽しんでみたいかがでしょう。
兄弟姉妹やお友達と共同研究もできます。
研究の際には、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

◆出品規定◆

○A4 レポート 片面8枚以内

両面印刷はしない

折り曲げたり、重ね張りはしない。

ファイルに閉じるのは可。ホチキス綴りも可

1枚目に、学校名（坂戸市立桜小学校）と氏名を必ず書く。



○付属品について

レポート形式の為、実験器具や標本などの立体物は出品できない。

また、PDF データ化して出品するので、凸凹しすぎないようにする。

○商品名等について

商品名・企業名は出ないようにする。（写真に商品名が写っている場合が多い）

◎炭酸飲料A、B、C × コカ・コーラ、カルピス 等

○写真について

作品中に、児童生徒の顔写真等が写らないようにすること。

（県中央展に出品された場合 HP に掲載されるため）

○共同研究について

共同研究者の最高学年の者を代表者とし、出品する。

中学校と小学校など異校種にまたがる場合は、中学校の部の出品とする。



○出典

研究、制作にあたり、参考にした資料及び文献は必ず出典を明記する。

○QRコードについて

添付してあっても規格外とはしないが、審査の際に参照はしない。

QRコードを参照しなければレポートとして成り立たない場合は、規格外とする。

○参考資料

埼玉県理科教育研究会 HP 掲載の「研究のまとめ方」「作品票かのポイント」を参考にまとめるとよい。

入間地区科学展の金賞作品集があるので、閲覧希望の方は、理科担当【五十嵐】までご連絡ください。

○その他

何か質問や相談がありましたら、理科担当【五十嵐】までご連絡ください。



埼玉理科教育研究会
HP

楽しく遊びながら 調べる学習 調べる学習 すくすく

「図書館を使う調べる学習」のことが
ひと目でわかるすくすく……略して

「図書館に
行きこんどは
司書さんに相談」
にもどる

「情報が
たくさんある」
「いろいろ
ある」

「メールでー!!
あっさり課題に負けて
1回休み」

「仲間の
情報交換
をした」
「調べ方の
コツを教わって
2コマ進む」

「司書さんが
資料の探し
かたを教えて
くれた」
「サボコをわけて
奇数が出たわ
1コマもどる」

「すつかり
ハマって
2回休み」

「本、おもしろ
たん、おもしろ
さん、おもしろ」
「さらに
興味をわいて
1コマ進む」

「今年、は
じめての
おもしろ」

「おもしろ
おもしろ」
「おもしろ
おもしろ」

「おもしろ
おもしろ」

「日本と
アメリカ
の違い」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

「調べた
こと」
「調べた
こと」

早わかり!! 図書館を使った調べる学習

12

さあ、はじめよう「調べる学習」の4つのステップ

その1 テーマを決めよう

疑問やふしぎをさがしてみよう!

- 1 身のまわりをよく見よう
生き物、草花、食べ物など、生活の場には調べるテーマがたくさん。家族や友達たちの会話や、新聞・テレビ、教科書の中にもテーマが隠れているかも。
- 2 「どうしてかな?」と疑問の形で考えてみよう
「雲の形はどうしてみな違うのかな?」「ダンゴ虫はなぜ丸くなるの?」「なぜかな?」「どうしてだろう?」と考えてみよう。ふしぎな気持ちが大きくなっていきます。



3 比べてみよう

自分が住んでいる土地ではこうだけれど、ほかの場所ではどうなっているかな? 今と昔など、比べてちがいに気づくと、調べたくなってきます。

4 仮説をたててみよう

答えを予想して仮説をたててみよう。テーマによっては、頭の中も整理されて、どこでどう調べればよいかかわってきます。

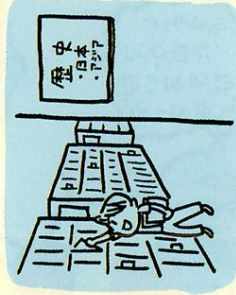
5 とりあえず、テーマを決めよう

おおまかなテーマしか思い浮かばないときは、少しだけそれを調べてみよう。自分が本当に興味を感じるテーマがきっと見つかると思います。

その2 図書館で調べる

地域の図書館や学校図書館で調べてみよう。
見つけた本の名前は書いておこう

- 1 図書館に行ってみよう
図書館は知識の宝庫です。書棚をながめて、テーマに関連した本やパンフレット、新聞記事をさがそう。
- 2 司書さんに聞いてみよう
本が見つからない時は、司書さんに相談してみよう。関連した本の見つけ方、調べ方を教えてくれます。
- 3 百科事典は強い味方
まずは百科事典にあたってみよう。関連した事柄がわかって、そこから調べることが広がっていきます。
- 4 複数の資料にあたろう
本を読み比べてみよう。書いてあることが違うかも知れません。
- 5 図書館での関連の講座に参加しよう
調べる学習のやり方は、学校の授業のほかに、図書館でも教えてくれることがあります。家の人や友達らと行ってみよう。



その3 もっと調べるメモをとろう

まちや自然のなかにもでかけよう! 図書館では調べきれない発見があるよ。考えたことをメモしておこう。

- 1 実験しよう、観察しよう
植物や昆虫、動物などを調べるときは、観察や実験も良い方法です。どんな方法で行い、何がわかったか、結果も含めて記録しておこう。



2 博物館・動物園・資料館に行こう

実物にふれたり、専門の資料などを見ると、ものの見方や考え方が広がります。そのときの自分の気持ちもメモしておく、まとめるときに役立つ!

3 人の話も聞いてみよう

身近な人へのインタビューやアンケート調査も有効です。専門家などに手紙を出すと、疑問にこたえてもらえるかもしれません。もし、会えることになったら、あらかじめ質問をまとめておこう。

4 そして図書館へ

図書館の外で色々調べてわかったことを、もう一度図書館に戻ってたしかめてみよう。新たな発見があるかも。

その4 書いてまとめよう

友だちに自分が調べたことを教えてあげよう
つもりでまとめよう

- 1 なぜ、そのことを調べたいと思ったのかな?
まず「どうしてこのテーマを選んだのか、そのきっかけを書こう。『こういうことに疑問をもったからなんだ』と読んだ人に伝わるだけでなく、自分でも「このテーマを選んだ理由」をしっかりと意識できます。
- 2 なにをどうやって調べた?
どのように調べていったのか、そのみちすじを読む人に伝わるようにまとめよう。
- 3 目次をつくらう
説明しやすいように、メモをならべかえて目次をつくらう。全体のストーリーを考えるのにまよったら、だれかに読んでもらって、わかりやすい組み立てを目指そう。
- 4 どこでなにを調べたか、参考文献を書こう
調べるときに使った図書館や本を書こう。このときにもメモが役立つ!
- 5 調べてわかったことに対して、どう考えたか?
自分が思ったこと、考えたことを自分の言葉で書いてみよう。調べる前と、後で考え方が変わった点も書こう。
- 6 タイトルはとっても大事!
自分のテーマが伝わるようなオリジナルのタイトルをつけてみよう。



発明創意くふう展

作品募集

はつめいそういくふうてん

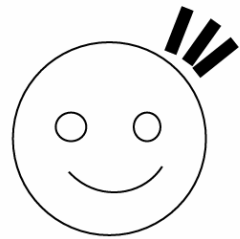
☆ ^{じぶん} ^{かんが} 自分で考えたもの

☆ ^{せいかつ} ^{なか} 生活の中でやくにたつもの

☆ ^{がんば} ^{つく} ^{どりよく} ^み 頑張って作った努力の見えるもの

☆ ^{かくしゅう} ^{まな} いろいろな学習で学んだことがいかされているもの

☆ きれいにできているもの



みなさんの身の回りには、たくさんの道具がありますね。どの道具も生活を便利にしたり、楽しくしたりしてくれるものです。その道具が、もっと使いやすくなったり、ちがう使い方ができたりしたらおもしろいと思いませんか？今あるものにちょっとした工夫を加えて、もっと便利なものに変身させるのも創意工夫です。自分の生活を豊かにする便利なものを作ってみよう！！

☆ ^{さくひん} ^{おお} ^{おも} 作品の大きさや重さ ☆ ^{たて} 縦45cm ^{よこ} 横70cm ^{たか} 高さ 70cm ^{おも} 重さ 20kg ^{いない} 以内

★ ^{はつめいそういくふうてん} ^{しゅってん} 発明創意工夫展に出展された作品を紹介します ★ ^{さくひん} ^{しょうかい}

<ランドセルにスイツとう>

学校に行く時、水とうがじゃまでいやでした。手さげぶくろに入れても重いし、ランドセルに入れて楽だと思いました。ノートみたいな形なら入ると思って四角い水とうが作りたくになりました。

POINT！ ランドセルに入る！立てておける！

あらうのもかんたん！かわかす時もつるせる！



作品カード	班	NO.
立	学校	第 学年
ふりがな		
氏名		
ふりがな		
作品名		
【説明】		